

動物実験に関する自己点検・評価報告書

大分大学

2025 年 7 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人大分大学動物実験規程 大分大学全学研究推進機構研究支援分野動物実験部門利用内規
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程および動物実験部門利用内規が適正に定められているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善点なし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人大分大学動物実験規程 大分大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験委員会を設置しており、適正に運営しているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善点なし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人大分大学動物実験規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善点なし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人大分大学動物実験規程 国立大学法人大分大学遺伝子組換え実験安全管理規程 国立大学法人大分大学研究用微生物等安全管理規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善点なし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人大分大学動物実験規程 飼養保管施設設置承認申請書 実験室設置承認申請書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物管理者の下に飼養保管等の管理体制が整備されているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善点なし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

本学では、動物実験計画書の承認期限を 1 年間に定めている。実験実施者が同一の実験を更新する場合、若しくは使用動物数の追加、動物実験実施者の変更を希望する場合は、それぞれに「動物実験計画書更新申請書」、又は「動物実験計画書変更申請書」を提出し、動物実験委員会の審査を受け、学長承認を得ることを義務付けている。 また、その各申請書は動物実験に関する教育訓練を「動物実験管理者」、「動物実験責任者」、「動物実験実施者」が受講していなければ、動物実験委員会に提出できないシステムを導入している。 このことから、学内で動物実験に係わる実験者等の教育訓練は網羅されている。
--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 開催記録書 32 回開催（動物実験計画書 42 件・動物実験計画書更新申請書 105 件・動物実験計画書変更申請書 21 件・飼養保管施設設置承認申請書 0 件・実験室設置承認申請書 2 件・その他 2 件 合計 172 件）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 国立大学法人大分大学動物実験規程に基づき、適正に活動している。また申請者から提出された「動物実験計画書」、「動物実験計画書更新申請書」、「動物実験計画書変更申請書」は、動物実験委員会に付議される前に動物実験部門教職員が事前審査を行い、内容等に不備がある場合は申請者に連絡の上、差替えを依頼している。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善点なし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書 動物実験計画書更新申請書 動物実験計画書変更申請書 動物実験完了・中止報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告書が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善点なし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人大分大学動物実験規程 国立大学法人大分大学遺伝子組換え実験安全管理規程 国立大学法人大分大学研究用微生物等安全管理規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験は規程に基づき適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善点なし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 飼養保管施設設置承認申請書 実験室設置承認申請書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 改善点なし。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善点なし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 飼養保管施設設置承認申請書 実験室設置承認申請書 高圧蒸気滅菌装置定期点検記録簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管基準に適合し、飼育室及び実験室の維持並びに高圧蒸気滅菌装置の維持管理は適正に実施されている
4) 改善の方針、達成予定時期 改善点なし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 2024 年度教育訓練実施状況（282 名受講） 2024 年度教育訓練資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 教育訓練実施状況から、基本指針に即した教育訓練が実施されていることを確認した。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善点なし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果

- ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

国立大学法人大分大学研究マネジメント機構、動物実験委員会、実績報告のホームページ
<http://www.med.oita-u.ac.jp/rpp/committee/animal.html>)

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

大学の情報公開ホームページに自己点検・評価報告書をはじめとして、大分大学における動物実験に関する情報を公開している。

4) 改善の方針、達成予定時期

順次情報公開を上記ホームページで行っていく。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

学外での野生動物（哺乳類・爬虫類等）の生態調査等を実施する場合、また、学内で両生類及び魚類等を用いる実験に関しても国立大学法人大分大学動物実験規程に基づいた動物実験に準じて、動物実験計画書を提出し、動物実験委員会による審査、学長の承認を得てから実施することとしている。